

# しらぬか

## 議会

NO.172  
2026. 4.24

## だより

- 2 令和8年第1回定例会概要
- 5 一般質問5人
- 10 令和8年度予算審査特別委員会



庶路こども園



白糠こども園



茶路中学校



庶路学園



白糠学園

ちよつとキンチョー

### 子どもたちの笑顔輝くまちづくり

(こども園入園式、町立学校入学式)

# 条例



## 一部改正

### ●白糠町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

人里に出没したクマへの銃猟を可能とする「緊急銃猟制度」の創設に伴い、当該業務に従事する者を非常勤特別職「鳥獣被害対策隊員」として委嘱するため、条例の一部を改正した。

## 質疑・答弁

問 鳥獣被害対策隊員について

- ①ハンター以外にも委嘱するのか。
- ②登録は4月1日付けか。
- ③現時点での委嘱予定人数は。

答 ①ハンター以外に委嘱する予定はない。

- ②登録は4月1日付けです。
- ③町内ハンター 58 人のうち緊急銃猟制度に同意いただいた 48 人。

### ●職員の給与に関する条例

### ●白糠町企業職員の給与に関する条例

人事院勧告および国家公務員の給与改定に準じた職員の通勤手当、企業職員の扶養手当の改正、さらに、職員および企業職員に対する適切な労働条件の確保を図るため特殊勤務手当を規定することから、条例の一部を改正した。

## 質疑・答弁

問 特殊勤務手当について、令和8年度予算で積算しているそれぞれの影響額を示されたい。

答 職員の特務手当については 1,406 万9千円、企業職員は 50 万円程度。

### ●白糠町スポーツ施設の設置及び管理に関する条例

白糠町白糠スケートリンクおよび白糠町庶路スケートリンクの用途廃止に伴い、条例の一部を改正した。

### ●地域自治振興条例

「中和天別町内会」と「緑町内会」が「緑町内会」として本年4月1日付けで合併となることに伴い、条例の一部を改正した。

### ●議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例

議会の議決に付さなければならない契約の要件である予定価格の金額を変更するため、条例の一部を改正した。

# 工事請負契約



## 締結

### ●白糠町図書館整備事業建築主体工事

- ・契約金額 4億 1,140 万円
- ・契約相手 株式会社八百坂建設
- ・工事場所 白糠町東3条南1丁目1番地 21 外
- ・工期 令和8年3月6日から令和9年3月9日まで

### ●白糠町図書館整備事業電気設備工事

- ・契約金額 1億 1,572 万円
- ・契約相手 北電・清水経常建設共同体
- ・工事場所 白糠町東3条南1丁目1番地 21 外
- ・工期 令和8年3月6日から令和9年3月9日まで

### ●白糠町図書館整備事業機械設備工事

- ・契約金額 7,590 万円
- ・契約相手 山田水道機工株式会社
- ・工事場所 白糠町東3条南1丁目1番地 21 外
- ・工期 令和8年3月6日から令和9年3月9日まで

## 一部変更



### ●町道橋梁補修工事（恋問2号橋）

特別管理産業廃棄物の量が当初の設計よりも増加したことにより、契約金額を変更するもの。

- ・契約金額 変更前 8,910 万円  
変更後 8,934 万2千円
- ・契約相手 山田水道機工株式会社
- ・工事場所 白糠町庶路甲区6番地 303
- ・工期 令和7年9月 22 日から令和8年3月 23 日まで

### ●白糠都市計画特別用途地区建築条例

白糠町都市計画マスタープランに基づき、町保健センター西側町有地の利用促進を図るため、都市計画用途地域ならびに、都市計画特別用途地区の指定区域などに変更があったため、条例の一部を改正した。

## 質疑・答弁

問 当該地の面積と、建設計画などはあるか。

答 面積は約1万平方メートルで、正式な建設計画はないが、1件相談は受けている。

# 7年度補正予算（専決）

## 一般会計補正予算



補正合計 25 億 165 万 3 千円  
総額 370 億 7,755 万 1 千円

### ▲増額

ふるさと納税関連関連	2,490,000,000 円
衆議院議員選挙関連	11,653,000 円

# 7年度補正予算



## 一般会計補正予算

補正合計 2 億 1,800 万 2 千円  
総額 372 億 9,555 万 3 千円

### ▲増額

まちづくり寄付金	500,000 円
財政調整基金積立金	198,652,000 円
基金利子積立金	11,596,000 円
戸籍情報システム等改修業務	5,053,000 円
その他	2,201,000 円

## 質疑・答弁

問 まちづくり寄付金について、寄付者を公表されたい。

答 北海道郵便局長協会から、防災事業などの活用資金として寄付された。

# 指定管理者



### ●白糠町公の施設に係る指定管理者の指定事項の一部変更について

白糠および庶路スケートリンクの用途廃止に伴い、指定管理者の指定事項の一部を変更した。

### ●白糠町公の施設に係る指定管理者の指定について

からまつ寮の指定管理者の指定期間が満了になるので、これまでの指定管理者を再度、指定した。

# 予算審査特別委員会

令和8年度一般会計、各特別会計および各公営企業会計の予算審査のため、議長を除く全議員により「令和8年度白糠町各会計予算審査特別委員会」を設置しました。

審査内容は、10 頁から 13 頁に掲載しています。

# 第1回 定例会

3月3日

- ・町政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・一般質問
- ・専決処分の承認（令和7年度補正予算）
- ・令和7年度補正予算

3月4日

- ・条例改正
- ・指定管理者
- ・新年度予算審査の特別委員会付託
- ・計画の策定
- ・工事請負契約の締結・一部変更
- ・規約の変更
- ・町道路線の廃止・認定

3月11日

- ・新年度予算

# 策定



### ●白糠町過疎地域持続的発展市町村計画

地域の過疎問題は、昭和45年の過疎地域対策緊急措置法制定以来、10年を時限とする特別措置法が、その対策とされてきたが、現行法の期限が、令和3年度から令和12年度までとなっており、道内市町村は、北海道過疎地域持続的発展方針に基づき、5年ごとに計画を見直すこととなっていることから、新たに令和8年度から令和12年度までの5年間を期間とする計画の策定に当たり、法の規定による北海道知事との協議が整ったので、計画を策定した。

# 協議



## 規約の変更

### ●釧路公立大学事務組合理約

公立大学法人釧路公立大学を設置者として、釧路短期大学を公立化することに伴い、短期大学に係る運営経費がその収入を上回る場合は、釧路市が負担する規定を新設するため、規約の一部を変更した。

# 問い合わせ 提案する

森 武人 議員・・・・・・・・・・6分

- 1 スーパーの誘致について

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・6分

- 1 スーパー出店について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・7分

- 1 帝京大学駅伝競走部への応援について
- 2 農業の再興と振興について
- 3 釧路白糠工業団地に進められているソーラーパネルについて

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・8分

- 1 白糠町産業用ヘンプ可能性検討委員会について
- 2 まちおこし政策の新機軸について
- 3 投票所入場券について

折出 征清 議員・・・・・・・・・・9分

- 1 商工業持続化支援制度について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴調査特別委員会が校正したものです。個人の見解が含まれている場合もあります

※議員5人が9件11項目について質問しました。  
※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

# 一般質問

## 町道路線

令和7年度に実施した、橋北地区で公営住宅跡地における子育て支援住宅の宅地造成に伴い、既存の町道、公住3号通りがなくなることから廃止し、宅地造成で新設した道路と旧営林署跡地に整備した無償宅地の造成で新設した道路を、維持管理上および建築基準法の規定に基づく公の道路として位置づける必要があることから、町道に認定した。

また、令和7年4月に開通した恋問地区の町道、恋問3丁1号通りは国道38号からJR根室線を恋問踏切でまたく町道で、釧路空港や道立広域公園予定地、道の駅しらぬか恋問館とのアクセス向上を図っていくことを目的に、そこからの町道、空港短絡線に接続する道路整備により、終点の位置の変更が必要になったことから、既存の町道を一旦廃止し、改めて町道に認定した。

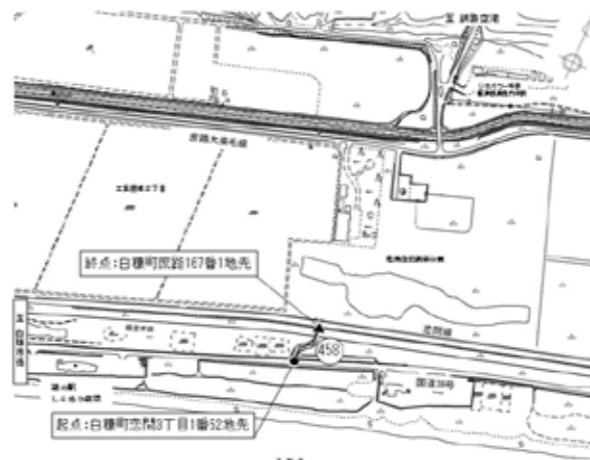
### 廃止



- ・路線名 公住3号通り (138)
- ・道路延長 50.7 m
- ・敷地幅員 6.0 m



- ・路線名 恋問3丁1号通り (458)
- ・道路延長 123.8 m
- ・敷地幅員 15.7 mから27.9 m



### 認定



道路延長 敷地幅員

- ・路線名 西5条1号通り (138) 74.2m 7.0m
- ・路線名 西4条3号通り (168) 110.3m 8.0m
- ・路線名 西4条4号通り (169) 161.5m 8.0m
- ・路線名 西4条5号通り (170) 51.4m 8.0m



- ・路線名 恋問3丁1号通り (458)
- ・道路延長 659.2 m
- ・敷地幅員 15.7 mから27.9 m





森 武人 議員

**問** スーパーの誘致について

**答** 社内手続きの段階のため今しばらく時間を要する

問 令和5年第2回定例会において「本町へのスーパー誘致の考えがないか？」と伺った。その後も、令和6年第4回定例会や令和7年第1回定例会において関連質問を行った。また、同年第3回定例会においては他の議員からも関連する質問がなされていた。昨年の第3回定例会において「年内には結論が出る。」旨の、町長の答弁があった。年が明けたことから、改めて現在の『スーパーの誘致に関する進捗状況』について伺う。

答 答弁の中に「現在、社内手続きの手順を踏んでいる段階のため、今しばらく時間を要する。」とあった。あくまでも、相手側の考え方が重要になるわけだが、多

答 スーパーの誘致については、現在も大手スーパーマーケット事業を展開している民間企業1社と、継続して協議を行っている。昨年9月、先方より「年内には結論を出したい。」と回答があったことから、これまでの経過を含め、令和7年第3回定例会において、説明した。

その後、現在の進捗状況については、これまでも協議を重ねてきたところであるが、先方からは「現在、社内手続きの手順を踏んでいる段階のため、今しばらく時間を要する。」との回答であった。町としても、できるだけ早く町民の期待に応えられるように考えているが、先方の考えもあることから、引き続き慎重に協議を進めているので、理解を願う。

くの町民が期待していることは事実である。そこで、今後の協議が進み、誘致が現実的になった場合、本町としての受け入れや支援の態勢について、現段階でお示しできることがあれば、伺う。

答 民間企業なのでいろいろな手続きが必要とのことである。町としてもいろいろな協議をしているが、現時点での回答は差し控える。できるだけ早く決断をいただいた中で、速やかに公表することとしたい。

**問** スーパー出店について

**答** 先方の考えもあり引き続き慎重に協議を進める

※本会議では、一回目の答弁が森議員と同一であったため省略し、再質問から始めています。

問 スーパー誘致が決まった時には、高齢者のかたがたが買い物に行きやすいように町営バスの停留所を新設できるか伺う。

答 誘致が決まった時には、十分配慮しながら取り進めていくのか。



今田 睦子 議員



**問** 釧路白糠工業団地に進められているソーラーパネルの経緯は

**答** 太陽光発電の安定的な供給体系の検証などを行う

問 釧路白糠工業団地内への企業進出は製造業などの業種が望ましいと思うが。

答 企業誘致は町としても、製造業などで工業用水を多く使用する企業の進出を期待するが、電気事業者や運送業者など、さまざまな企業に立地いただいている。ソーラーパネルは「株式会社再エネ総合管理所」による4メガワットの発電と、2メガワットの蓄電池を併設し、変動電源である太陽光発電の安定的な供給体系を確立する検証などを行う事業となっている。



中河 敏史 議員

**問** 帝京大学駅伝競走部に応援について

**答** 前向きに検討する

問 本年の箱根駅伝において、中野孝行監督が率いる帝京大学駅伝競走部は、往路17位ながら復路では素晴らしき追い上げにより、9位まで成績を押し上げ、10位まで与えられる来年のシード権を獲得し、本レースの視聴者を感動させた。中野孝行監督は白糠町の出身で白糠高校の卒業生でもあり、地元の出身者が頑張って活躍している姿を見ると同じ町民として誇りに思う。

そこで、一例ではあるが、白糠町の冷涼な気候を活かした夏季練習拠点の提供や食事のサポートなど、少しでも応援できないか。

答 本町出身の中野孝行監督が率いる帝京大学駅伝競走部の活躍については、私も毎年、箱根駅伝のテレビ観戦を楽しみにしている一人である。特に一昨年の100回目となる記念すべき箱根駅伝では、本町出身の小野隆一朗選手が、中野監督の指導の下で、復路7区においておしくも区間賞は逃したが、区間2位となる快走を見せてくれたことは記憶に新しく、中野監督をはじめ本町出身者の活躍を非常にうれしく思っている。

本町とつながりのある帝京大学駅伝競走部への応援であるが、中野監督とは機会あるごとに話しており、町内での合宿や強化練習などについて、現時点では具体化していないが、白糠町で陸上競技に打ち込んでいる子どもたちが、全国で活躍する選手の姿を間近で見る絶好の機会となることから、できるだけ早く実現できるように取り組みたい。その際には町としての支援やサポートについても前向きに検討したい。

**問** 農業の再興と振興について

**答** 釧路丹頂農業協同組合と連携し、取り進めたい

問 町内の有効利用されていない農地や、農地として利用が可能な土地については把握している。また、今後は高齢化や後継者不足により、適切な管理や利用拡大が困難になることが予想される。本町における農地の活用は、国や北海道による補助事業に加え、町独自の支援策である「自給飼料生産向上対策事業補助金」などを活用し、農業の基本である土づくりを推進すること、草地などの生産性の維持、向上に努めている。併せて意欲ある新規就農者の受け入れを積極的に行い、農地の有効活用が図られるよう努めていく。

答 本来の生産力が発揮できていない農地や、農地として利用が可能な土地については把握している。また、今後は高齢化や後継者不足により、適切な管理や利用拡大が困難になることが予想される。本町における農地の活用は、国や北海道による補助事業に加え、町独自の支援策である「自給飼料生産向上対策事業補助金」などを活用し、農業の基本である土づくりを推進すること、草地などの生産性の維持、向上に努めている。併せて意欲ある新規就農者の受け入れを積極的に行い、農地の有効活用が図られるよう努めていく。

問 持続可能な循環型農業を行う必要があるが、取り進めは。

答 自然環境に配慮し、省力化や低コスト化にもつながらる資源循環型農業として、現行に加え自然環境と共生する「放牧酪農」の展開も必要と考えている。

安全で良質な生乳や乳製品などの生産を目指し釧路丹頂農業協同組合と連携を図りながら進めていく。



福地 裕行 議員

**問** 産業用大麻の栽培

**答** 諦めてはいないが

**問** 12年前に産業用大麻の絶対的な可能性に着目し、栽培に向け、産業用ヘンプ可能性検討委員会を組成し、講演会開催や視察も実施したが、法律面の規制もあり、活動は休止している。

**答** 昨年、「大麻取締法」が改称され、栽培が実質的に後押しされる方向に緩和されたが、栽培に向けて改めて気運の醸成を図るべきである。

の受け付けが開始された。今後、新たな動きが出てきた場合には北海道とも連携し、町の検討委員会の活動再開についても協議していく。

**問** 昨年12月15日と今年1月28日、鶴居村で講演・説明会があり参加したが、役場職員は一人もいなかった。辛い方だが、上から指示されたことだけやればいいと考えているのか。今春から鶴居村でも栽培が始まるし、中標津町でも栽培に向けた動きがある。先進地として今こそ取り組み時ではないのか。

**答** 町の検討委員会では「今後北海道に新たな動きが出るまで活動を休止する」との方針で合意した。いまだ取り組みへの課題もあるし、種子入手の可能性の情報が無い。諦めてはいないが、まだ早い。精査して準備はする。

**問** バイナリー発電で活性化を

**答** 事業費がかかりすぎる

**問** わが町は近隣のまちの住民から垂涎の的に見られる一面はあるが、これは豊かな財源に裏打ちされたそれぞれの「無償化」や俗にいう箱物の整備によるものである。一にも二にもふるさと納税寄付金のおかげだが、一方わが町民は貧しく、まちにも潤いが欠ける。

**答** 証左の一例は、北海道所得ランキングだが、179市町村中、住民の所得は176位と低迷し続け、北海道ならびに全国町村会会長の町として恥ずかしい。要因は一つ。そこで活性化の一助に提案する。縫別・上庶路辺りを候補地にクラウドファンディングなどで資金を募り、温泉掘削し、40度以下の温水でも発電が可能で、電気代がかからないバイナリー発電による地域新電力を組成後、野菜などのハ

ウス栽培やフリーズドライ企業などの誘致を検討してはどうか。

**答** 新たな再生可能エネルギーの可能性については情報収集に努めている。バイナリー発電を検討したが、掘削費用やインフラ整備などに過大な投資が必要になる。

**問** 両地区などでは大きな費用をかけずとも温水は必ず出る。新しい技術も発明され、沸点が40度以下の有機溶剤を媒体にタービンを回せば発電は充分可能である。

**答** 福島県の小規模バイナリー発電も承知しているが、低温水では発電能力が乏しい。

**問** 公選法の趣旨に反する

**答** 期日前投票に合わせたが

**問** 2月の衆議院議員選挙に当たり、投票所入場券が公示日1月27日の前に郵送・配達されたが、公職選挙法施行令の規定によると、特別な事情がない限り、公示日以後に交付するようにと定められている。期日前投票を考慮してのことだとしても不適切な対応である。

**答** 配達には2、3日かかるので郵便局と調整し取り進めた。今後有権者に混乱を来すことがないように郵便局と十分調整を行い対応していく。

**問** 投票所入場券がなくても投票できることをしっかり周知すればいいことである。施行令で定められている「特別な事情」になるのか。法の趣旨をないがしろにした不適切な対応である。

**答** 「特別な事情」の判断基準はないが、期日前投票に合わせた措置した。

が事業計画を審査した上で、必要金額を補助すると説明した。

**問** 商工業持続化支援制度について

**答** 地域経済の活性化につなげていき

**問** 商工業持続化支援制度は、当初予算で7000万円を計上し、昨年の第3回定例会において5000万円追加補正され、9月までに36事業所、9月以降12月末まで20事業所が予定されていたと聞いている。実際に事業所から町が事業持続を力強く応援してくれていることに感謝しているとの声が上がっている。事業承継・空き店舗などの活用・事業の継続のために、この支援制度を次年度以降も続けていただきたいと事業者の声も多くあるが、今後についての考えを伺う。

**答** 本制度については、商工業者の経営の安定化と持続化を図るため、事業承継、空き店舗等を活用した起業、事業継続のための環境整備等に対する支援制度として、令和7年4月に創設した。

おかげさまで、制度の開始以降、本年1月末現在で56件と多くの事業者が将来を見据え、効果的に活用が図られているものと考えている。そこで「次年度以降も続けていただきたい」との質問であるが、本制度については、利用者の相談窓口を担う白糠町商工会とも協議を重ねた上で、1事業者1度の利用として令和9年度までの3年間を補助期間として実施する考えであり、令和8年度においても、本定例会において6000万円の予算案を提案する予定である。

町としても、引き続き白糠町商工会と連携の下、本制度の積極的な活用を促し、地域経済の活性化につなげていきたいと考えているので、理解願う。

**問** 令和8年度6000万円の予算案を提案し、令和9年度まで3年間を補助期間として行う予定とのこと、本定例会で感謝申し上げる。そこで窓口を担う商工会とも協議を重ねて、1事業者1度の利用とのことだが、補

助上限額が500万円、事業費の3分の2の補助で事業者は3分の1の自己資金が必要となる。例えば、今年度にトイレを改修し、次年度以降にクロス張り替えをするなど、補助上限額以内であれば、2度、3度の利用することができないか伺う。

**答** 現状ではできない。大きな投資が必要で、本制度を有効活用したいと計画しているのであれば、事業計画の段階で、商工会が自己資金の面で金融機関から融資を受けて一度に実施する計画を、当初に出すべきと思う。

そこは商工業者の意見を聞いて商工会の制度などいろいろ検討し、知恵を絞っていただき業界あげて、町と向かい合っていたくも必要だと思ふ。

**問** この事業は当初から1事業者1度の利用と決まっていたのか伺う。

**答** そのようなアナウンスはしていないが、窓口である商工会



折出 征清 議員

# 令和8年度 予算 審査

令和8年度の各会計の予算審査は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に中河敏史委員、副委員長に森武人委員を互選して、3月9日から10日の2日間の日程で行いました。

各課から新規事業などの説明を受け、質疑応答により慎重に審査しました。各課の主な質疑をお知らせします。(予算の内容は3月25日発行の町広報をご覧ください。)

## 各会計予算額

(単位：千円、%)

会 計	令和8年度	令和7年度	増減	増減率	
一 般 会 計	26,261,000	33,161,000	▲ 6,900,000	▲ 20.8	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	893,371	910,936	▲ 17,565	▲ 1.9
	介 護 保 険	1,224,601	1,183,900	40,701	3.4
	後 期 高 齢 者 医 療	187,665	163,319	24,346	14.9
	計	2,305,637	2,258,155	47,482	2.1
合 計	28,566,637	35,419,155	▲ 6,852,518	▲ 19.3	

### 庶路支所

**問** 西庶路コミセン炊事場の備品が入れ替え時と聞いているが、どう進めるのか。

**答** 冷蔵庫が経年で破損しているため、庶路町民センターと併せて交換する。  
**問** 住民票などの手数料がキャッシュレス決済も可能とのことだが、具体的な支払い方法は何か。

**答** 日専連、VISA、マスターカード、JCBほか各種クレジットカードおよびワオンやナナコなどの電子マネーが使用できる。  
使用料などの支払いについては、令和9年度以降に検討する。

### 企画財政課

**問** ゼロカーボンの普及が全国的に進まないが白糠町は環境問題にいろいろ取り組んでいる。国が足踏み状態なら、地方がもっと力を入れて、小さい町村からでももっとPRが必要ではないか。

**答** 国は脱炭素だけでなく、経済成長と併せて進めるという大枠しか示していないため、どう進めるのが良いのか市町村も困っているが、白糠町は積極的にこれらを進めるため、今後、町民への周知普及に力を入れていきたい。

**問** 再エネ重点対策加速化事業補助金の内容について。

**答** 令和7年度は橋西の太陽光パネルから自営線を引いて、消防庁舎、白糠学園まで電源を接続した。令和8年度は、そこから南へ自営線を延長し、総合体育館、温水プールへの接続と、役場庁舎への蓄電池の購入、設置費用となっている。  
**問** しらぬか魅力発信事業の内容について。

**答** 令和8年度から造成工事を進める西庶路花園団地の無償宅地を効果的にPRするための看板設置や、新築住宅への500万円補助、子育て支援住宅などの情報をSNSで発信および冊子「てとて」の制作や移住PR、まち紹介動画をリニューアルする。  
また、庶路学園と逍遙公園のイルミネーションを継続して設置する。

**問** ふるさと納税は、地域への応援であることと使い道の共感が重要だと思うが、白糠町はこの2点についてどのような工夫をしていくのか。

**答** 地域応援・使い道の共感について、クラウドファンディングが全国的に普及しており、白糠町でもバドミントンイベントを開催した。今後も担当課やポータルサイトから提案があれば積極的に活用していきたい。

### 総務課

**問** 太陽の手が建立60年で、その作家が生誕120年となるが、記念事業の予定はあるか。

**答** 新年度に事業の予定はないが、周年の周知について協議、検討したい。  
**問** 書かない窓口、キャッシュレス決済の導入時期は。

**答** 令和9年1月の予定。

### 税務課

**問** 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の内容について。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者などの固定資産税について、減免措置を講じるもので、令和8年度においては、2件の固定資産税を減免する。

**問** 釧路・根室広域滞納整理機構負担金について、令和7年度に比べて減額となっている理由は。

**答** 負担金の額は毎年同額ではなく、前年度の収納額が下がれば負担額も下がる内容になっている。

### 危機対策課

**問** 防災拠点施設整備事業のうち用地取得に係る建物の解体費用は。

**答** アスベストがなければ400万円ほどだが、アスベストがあると650万円ほどかかる試算となっている。

**問** 釧路市では一部自動車避難を検討しているようだが、白糠町は検討しないのか。

**答** 新年度、春先から夏にかけて実証訓練、渋滞の検証を行い、その結果を見て検討したい。

**問** 津波指定避難場所の環境改善について。

**答** 冬の避難については備えがそろってきっていたが、夏の熱中症対策のために水を備蓄しておくクーリングボックスの購入、生理用品の補充や仮設トイレの設置などを行う。

**問** 消防団車両の更新で、消防車の概要と納期、現有車両の処分はどうなるか。

**答** ポンプとトートの水槽がついている最新の消防車を、令和9年2月に納車し、現有車両は廃車とする。

**問** 消防団の組織改編にあたり、分団庁舎移転の話もあったが、それに関する予算計上がないのはなぜか。

**答** 必要な諸室面積などを調整してお

### 水道課

**問** 庶路中央地区水道整備工事の詳細について。

**答** 令和7年度中にボーリング調査を9カ所実施し、8カ所で水源が確認されたことから、戸別ポンプを設置するための工事を行う。

### 町民サービス課

**問** 町内で行われているイベントで使用される簡易トイレのし尿処理や運搬費はどが負担するのか。

**答** 基本的にはイベント主催者が費用を負担する。

**問** 庶路方面のマイクロバスが更新されることだが、新車と入れ替えになるのか、それとも追加になるのか。

**答** 現行3台あるうち2台のハイエースで運行しているが、マイクロバスを納車してもハイエースは廃車せず使用する。

**問** 旧白糠線展示設計の内容について。

**答** 現時点では、白糠線が整備され廃止に至るまでの歴史紹介、運行当時の写真や当時使われていた備品の展示、あわせて、JR北海道に協力いただき、列車で実際に使用していた座

### 介護福祉課

**問** 障がい福祉・障がい児福祉計画の策定に係るアンケート調査の対象者と、計画策定の作業手順および委託先をどうするか。

**答** 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている方で、540人を見込んでおり代理でも回答可能とすることを検討している。

町に指名願提出済みの業者から指名競争入札で委託先を決定し、自立支援協議会と同様のメンバーで構成される策定委員会、素案を確定してもらう。

**問** 備品購入費の内容について、どこで施設で使用する何の備品か。

**答** 白糠町アイヌミュージアムポコロの備品で、ビデオカメラと間宮喜代子氏の刺しゅう作品2点。

**問** 補聴器購入費の補助事業について、周知はどのようにしているか。

**答** また、両耳分を助成できるように要綱の変更はできないか。  
**答** ポスターを作成し15カ所の事業所に配布している。町広報にも年3回記事を掲載し、町ホームページでも周

知っている。

現行、医師の診断に基づいて両耳・片耳の助成をしており、要綱も医師に相談して作成した。両耳に補聴器が必要な場合は、医師に相談してほしい。

**問** 介護人材育成助成事業について、助成対象となる研修の内容と、受講者数はどの程度を想定しているか。

**答** ヘルパーなど要介護者に触れることができる資格を取得できる介護職員初任者研修と、初任者研修受講後に介護福祉士の資格を取得するための介護福祉士実務者研修の2つが助成対象で、社会福祉協議会、グループホームななかまどの里、清和園から各一人と一般の人を想定している。

### 健康こども課

**問** 「ひとり親家庭等への医療費助成」は例外なく18歳までか。学生などに特例はないのか。

**答** 学生の場合は20歳まで医療費を助成している。

**問** 認定こども園遊具整備工事の内容について。

**答** 白糠こども園に、0〜2歳児などの低年齢に合わせた遊具を設置し、庶路こども園に、3〜5歳児が使える複合型の大型遊具を設置する。

**問** こども家庭センターの設置場所と人員体制はどうなるか。

**答** 庁舎内の健康こども課内に設置し、専門職として保健師、助産師、こども家庭支援員として社会福祉士、保育士を予定しており、令和8年5月1日の開設を目指している。

**問** 地域子育て支援拠点事業は今後も継続していくのか。

**答** 子育てについて、地域で気軽に相談できる場を求めるお母さんや、こども園などに子どもを預けることに不安があるお母さんたちが、安心して子どもと過ごせる場は必要であるので、今後も継続する。

**問** 医療機器の整備支援は、地域医療体制の確保や医療環境の充実につながるが、各医院ごとに機器の整備状況や耐用年数に違いがあるので、単年ではなく継続事業とするのが良いと考えるがどうか。

**答** 各医療機関が機器の更新費用がネックで廃業される懸念をなくすためと、新たな医院が開設されることへの期待もあるので、令和9年度以降も継続事業としたい。

**問** 担当の努力は見取れるが、健康診断の受診率が低いので、検診の義務化など検討できないか。

**答** 義務化は難しいが、これまでの、はがきによる受診勧奨に加え、コール

センターから電話勧奨を行う予定。しらぬか健康ウォーキング事業の支出内訳について。

**答** ポイント達成者への商品券224万円、消耗品に5万円、商品券の送料で25万8000円、データ送信機器の管理委託料で980万円、健康づくり講習会開催5回分3万8000円、送信機器を店舗に置かせてもらう使用料として11万9000円となっている。

**問** 町内で新型コロナウイルスのワクチン接種ができる体制を取れないか。

**答** ワクチン接種の実施について、行政が強制できるものではないため、関係機関と実施の可否について相談の上、対応できるようにしたい。

### 建設課

**問** 町道の除雪について、何回の出勤回数を想定しているか。

**答** 除雪は町内業者10社に委託しており、全車出勤を8回、ほかに部分除雪や避難路の除雪、塩化カルシウム散布を含めた予算計上としている。

**問** 「既存住宅耐震改修等促進事業」にある、耐震改修工事と減災対策工事の違いについて。

**答** 耐震改修工事は、建物全体の耐震改修。減災対策工事は、例えば、寝

室から玄関までの避難経路などといった部分改修を指すもので、いずれも1件1回限りで上限30万円の補助。

### 経済課

**問** 「新規就農者等支援事業補助金」の詳細と、令和8年度で何件見込んでいるか。

**答** 「施設整備等助成事業」2384万3000円。農用地取得賃貸借料助成事業313万6000円。鳥獣被害防止対策助成事業1150万円。新規就農者支援事業750万円。家賃助成事業59万2000円。農場実習生受入支援事業135万円。新規就農希望者交通費助成事業10万円。合計4802万1000円で、本事業を見込んでいるのは6件。

**問** 鹿柵整備事業の内容について。

**答** 延長2900mの新設と災害による補修を合わせて2500万円の予算計上としている。

**問** 林業・林産業担い手育成事業の内容について。

**答** 担い手育成確保のため、若い世代に対する森林組合のインターシップに係る整備費補助金や、公民館図書室に木のおもちゃを整備するなど、木に触れる機会の提供。

**問** スポーツ少年団本部補助金のなかには、スポーツ指導者の資格取得に係る経費の一部助成が含まれている。

**問** バドミントン教室の費用が含まれていると思うが、そのほかの内容はどうなっているか。

**答** バドミントン教室というよりは、その団体が、実業団選手などを臨時コーチとして招へいする経費を補助する内容。町主催のイベント分の経費は入っていない。

### 学校給食センター

**問** 給食センターは津波浸水区域にあるが、移設の考えはないか。

**答** 現行施設を改修しながら使用する10年間の整備計画があるが、耐用年数や補助年限も考慮して、今後に向けて検討したい。

**問** 備品購入費の内容について。

**答** 学校にある牛乳用の冷蔵庫、給食センターの洗濯機、AED除細動器、消毒保管器用カートを購入。

### 管理課

**問** 地域みらい留學事業の内容について。

**答** 白糠高校の生徒募集のために、全国の中学生や保護者を対象に、東京の説明会などで、白糠高校のPRをするもの。

**問** 海外留學支援事業で、留學先決定の経緯と時期について。

**答** 英語圏であること、時差が少なく親御さんと連絡が取りやすいこと、留學の受け入れ態勢がしっかり整っていることから、南オーストラリアのアデレードに決定し、高校1年生の1月から12月までとした。

**問** 備品購入費の内容について。

**問** 令和8年度はどの林道を整備するのか。

**答** 本流川島線、新興松川線、庶路青山線、熊の沢線、熊の沢支線、駒越線、上茶路線、中庶路線、松の沢線の9路線を予定している。

**問** ヒグマ対策用備品とは箱わなのことか。

**答** 緊急銃猟に係る備品で、ヘルメットなど安全を確保するための備品を整備する。

**問** 海況観測機器保守点検業務、白糠海域増養殖調査業務が前年度に比べて減額になっていること、ホタテ養殖事業の予算計上がないことについて。

**答** 海況観測機器保守点検業務の減額は、昨年度はデータ観測のためのブイのチェーン接続部品の交換とシステムの画面改修などの計画があったが、令和8年度はそれがないための減額。白糠海域増養殖調査業務はナマコの生育調査の委託料で、業者の人員削減による減額となっている。ホタテの増養殖については、稚貝の購入も含め白糠漁協が自主的に行うため、町の補助金は申請されないことになっている。

**問** ヤマトシジミ増養殖実証試験について、パシクル沼だけで採算が取れるのか、事業計画はどうなっているか。



## 今号の表紙

4月7～9日に認定こども園の入園式と町立学校の入学式が行われました。どの子も新たなスタートに、ちょっぴり緊張しながらも目をキラキラさせて、新しい環境での出会いや未来への期待に胸を膨らませているようでした。



## あとがき

3月の定例議会が終わりました。「子育て応援日本一のまち」「高齢者に寄り添ったやさしいまち」を目指して、今年度も豊かで明るいまちづくりを進めてまいります。

2月22日、道の駅恋問館の来館者数が年間目標の75万人を予定より早く達成。また、3月22日、第47回白糠町ロードレース大会があり、道内外から673人のランナーが参加して、町内を駆け抜けました。

これからも、人が寄り添う楽しい白糠町を町民皆さまの力をお借りしながら、ともにより良いまちづくりを目指していきましょう。

(坂本勝雄)



## 白糠こども園 ひな祭り



3月2日、白糠こども園でひな祭りが行われ、園児たちはひな祭りについて学んだり、歌やゲームを楽しみました。